KOBE ROSAI MEDICAL NET NEWS

病院機能評価認定病院

Medical Net News

Vol. 56（令和5年12月）

独立行政法人労働者健康安全機構
神戸労災病院

神戸労災病院　代表電話：078-231-5901
地域医療推進室　直通電話：078-231-5925
ファックス：078-231-5926
ホームページ：https://www.kobeh.johas.go.jp

消化器内科筆頭部長拝命のご挨拶、当科紹介

神戸労災病院　消化器内科部長　森　健次

この度**消化器内科筆頭部長**を拝命致しました森と申します。前任の久保先生と同じく、勤労者医療への取り組みと地域医療への貢献に尽力する所存です。何卒宜しくお願い致します。

さて、現在の神戸労災病院消化器内科には合計**13名**の医師が在籍しており、若手とベテランがお互いを尊重しつつ、専門性の高い医療を実施できるチームワークを有していると自負しております。当科では待機当番を定めており、**消化管出血に対する止血術**や**胆管ステント留置**といった緊急性を有する処置も、平日・休日を問わず**24時間体制**で対応可能です。また**『消化管出血ホットライン』**を開設しており、当番の**消化器内科医師が直接対応**致します。是非ご利用ください。

消化管

当院の内視鏡室では、現在オリンパスの最新内視鏡システムが**4光源**で稼働しており、並列で内視鏡検査を行う事が可能です。患者さんのご希望に合わせて**鎮痛剤・鎮静剤**の使用や**経鼻内視鏡**も選択できます。

また当院では、当日朝食を摂取せずに11時までに来院していただければ、基本的には**同日中に胃カメラを行う**事が出来ます。特に仕事で忙しい方々にご好評を頂いております。

さらに現在は、**カプセル内視鏡**や**シングルバルーン内視鏡**による小腸検査も提供できるようになりました。原因不明の消化管出血（Obscure Gastro-Intestinal Bleeding：OGIB）に対する新たなアプローチが可能です。

肝

肝臓専門医が３名在籍しており、ウイルス性肝炎やアルコール性肝障害、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）、肝硬変、肝がんや肝不全等の患者さんに対し、病態に応じた治療を提供しています。

B型肝炎に対する核酸アナログ製剤や、**C型肝炎に対する直接作用型抗ウイルス薬（DAA）**等、肝臓専門医による診療が望ましい患者さんがおられましたら、是非ご紹介ください。

胆膵系

当科がここ数年で特に設備を充実させた領域です。長年の課題であった超音波内視鏡を用いた精密検査や**超音波内視鏡下穿刺吸引法（EUS-FNA）**も現在は実施しています。さらに2022年度には、**経口胆道鏡**（SpyGlass™DS）を導入し、**電気水圧衝撃波胆管結石破砕装置**（Electrohydraulic Lithotripsy：EHL）による巨大総胆管結石の治療も可能となりました。

日勤帯の救急対応は当然行っておりますが、前述の通り、消化器内科としての待機当番（ベテラン1名＋若手1名の2名体制）を定めていますので、それ以外の時間帯でも大抵の応急処置は可能です。緊急ERCPのご依頼も、**『消化管出血ホットライン』**で受けておりますので、お困りの際はいつでもご相談ください。

以上、簡単ではありますが、当科の紹介とさせていただきます。何かしら地域の先生方のお役に立てることがありましたら幸いです。

総合内科のご紹介

神戸労災病院　総合内科・腎臓内科部長　佐藤　稔

当科の特色

総合内科は、**どのような臓器別診療科を受診すればよいか分からない**患者さん、**複数の病気を併せ持つ**患者さんなどの窓口としての役割を担っています。ありふれた病気や見逃してはならない病気、可能性の高い病気を考え、診察・検査・治療を行っています。**臓器別診療では対応がされにくい高齢者に多い疾患の診療**や、**不明熱など担当科の選別が困難な病気の診療**も行っています。院内の各診療科や部門、医療スタッフと協力して患者さんの診療に当たり、専門的な治療が必要な場合は適切な診療科に紹介をします。いくつもの病気を併せ持つ方や、受診すべき診療科がわからない方は、総合内科へご紹介ください。

当科の特色は、**総合内科と腎臓内科が併設**しており、お互いに協力しながら診療に当たっています。原因不明の浮腫などで、診断・治療に難重している患者さんなど、ご紹介いただければ、腎臓の観点からも診療に当たっていきます。

力を入れている領域

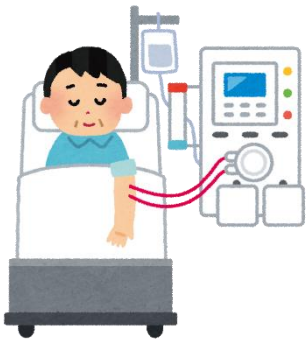
総合内科では**地域医療への貢献**および**高齢者医療**に力を入れて診療に当たっています。様々な心身機能の低下が生じ、複数の疾患を併せ持つ**「老年症候群」**という状態は臓器別診療だけでは対応しきれません。高齢患者さんの特徴として、1）多臓器にわたる疾患が多く認められる、2）症状が非定型的である、3）慢性化しやすい、4）機能障害につながりやすい、5）合併症を併発しやすい、などが挙げられます。従って**高齢者医療では、多職種・多科による「総合的診療」が必要**になります。当科では、高齢患者さんの健康状態を全人的に捉え、総合的に評価し、早期診断・治療を行っています。

また当院は、在宅療養中の状態悪化時の受け入れに対応可能な地域包括ケア病棟を有しています。従って、急性期医療が終了した後にご自宅での生活を可能にすべく、リハビリを含めた様々なご支援も可能です。

当科には総合内科専門医が多数在籍しており、高齢者医療に当たっております。お気軽にご紹介いただければ幸いです。

主な対応疾患

- 肺炎、尿路感染症、高血圧、心不全などの一般的な病気
- 慢性腎臓病、末期腎不全などの腎臓の病気
- 感染性心内膜炎、化膿性脊椎炎、髄膜炎や敗血症、膿瘍などの重症感染症
- 脳梗塞、パーキンソン病などの神経筋疾患
- 骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫などの血液疾患
- ANCA関連血管炎などの血管炎症候群
- 関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなどの膠原病・膠原病類縁疾患
- 甲状腺機能亢進症・低下症、クッシング症候群、褐色細胞腫などの内分泌疾患
- 健康診断で指摘された疾患の精査



当院で行っている爪治療のご紹介

神戸労災病院　皮膚科

つめ外来

＜対象＞　自分で爪を切ることができない方

看護師が火曜、木曜の13時30分から、皮膚科外来で行っています。
巻き爪の治療とは異なります。
入院患者も自費でできます（水曜午後）。

＜料金（税込）＞　手　500円　足　1,000円（いずれも自費）

人工爪

＜対象＞　陥入爪

アクリル樹脂を用いた人工爪で、爪の食い込みを軽減します。
一旦皮膚科に受診していただいてから、別の日に医師が行います。
入院患者不可。

＜料金（税込）＞　指1本　11,000円（自費）

ワイヤー治療

＜対象＞　陥入爪

マチワイヤーという超弾性ワイヤーを爪に装着して巻き爪を改善させます。
一旦皮膚科に受診していただいてから、別の日に医師が行います。
入院患者不可。

＜料金（税込）＞　指1本　11,000円（自費）

巻き爪マイスター＋リネイルゲル

＜対象＞　陥入爪

最新の巻き爪治療。「巻き爪マイスター」という器具を爪に装着し、リネイルゲルという爪軟化剤を併用することにより、従来の治療より効果が高く、再発が少なくなります。
一旦皮膚科に受診していただいてから、別の日に医師または看護師が行います。

＜料金（税込）＞（下記はいずれも自費）

医師施行：
- 巻き爪マイスターのみ　11,000円
- リネイルゲル併用　15,400円

看護師施行：
- 巻き爪マイスターのみ　8,800円
- リネイルゲル併用　13,200円

フェノール法

＜対象＞　陥入爪

食い込んでいる爪の一部を抜爪し（部分抜爪）、フェノールで腐食することによって、その部分の爪がほぼ永久的に生えないようにする治療法です。
一旦皮膚科に受診していただいてから、別の日に医師が施行致します。場合によっては入院を要します。

＜料金＞　保険適応

お気軽に
お問い合わせください！

お知らせ

●医療従事者向けメールマガジン「きまぐれロッサ便」創刊！！

この度、当院の**「メール会員」にご登録いただいている医療従事者の方向け**に、ロッサくんがお届けする**メールマガジン「きまぐれロッサ便」**を創刊しました！！

本誌に掲載するまでもないささやかなトピックスや、本誌の発行まで待てないタイムリーな話題、オンライン研修会「Meet The Rosai」のご案内、院内広報誌発刊のお知らせなどを、最低でも月イチ発刊を目標にしていますが、お届けしたい情報次第で、**「きまぐれ」な頻度**になるかと思われます。どうかご容赦くだサイ！！

お届け内容について、こういったことが知りたい等ございましたら、右記アドレス（地域医療推進室）までドシドシお知らせくだサイ！！

メール会員登録、メルマガ配信をご希望の方は、右記アドレス（地域医療推進室）まで所定の情報をお知らせいただくか、ＱＲコードを読み取っていただければ**「登録フォーム」**ページへ飛びますので、所定の情報をご登録くだサイ！！

～ メール会員登録にあたり
お知らせいただきたい情報 ～

1．メールアドレス
2．所属医療機関名
3．所属部署・役職等
4．職種
5．ご芳名

メール会員・
メルマガ配信
登録フォームQR

（地域医療推進室アドレス）
chiiki@kobeh.johas.go.jp

●人事異動のお知らせ

お世話になりました！！
（令和５年１０月３１日付退職）

・麻酔科副部長　木田 健太郎

●各種イベント

11月13日～17日まで**糖尿病デーイベント**、11月20日～24日まで**医療安全推進週間**と院内でイベントがありました。当院理学療法士が考案した「ロッサくん体操」等患者さんにご好評いただきました。

お願い

ご予約の連絡をいただいた当日中に、診療情報（紹介状）と患者保険情報のコピーを地域医療推進室宛てにFAXしていただきますようご協力よろしくお願い致します。

神戸労災病院 地域医療推進室
ＴＥＬ：０７８－２３１－５９２５
ＦＡＸ：０７８－２３１－５９２６
開室時間　平日 8:15～19:00　土曜 8:30～12:30
（17時以降および土曜は診察・検査予約のみ）

▶診療情報提供書等ご送付いただく際は、封筒に「診療情報提供書在中」とご明記ください。